

大和合金

三芳工場で切断機更新

銅合金の鑄造・鍛造
品メーカーである大和



合金(本社・東京都板橋区、社長・萩野源次郎氏)はこのほど、埼玉県三芳町の三芳工場で梱包用木材の切断機を更新した。写真。作

だった。7月に新たに導入したのは刃が中に入ったタイプとなっている。合わせて木材を送るローラーがついており作業効率に向

業現場の安全性を高めることが狙い。両手で操作しなければ作動しない仕組みになっており、手のけがを防止できる。

以前は刃が出ていた帯鋸切断機。大和合金は10月6日からベトナムホーチミンで行われる工作機械・金属加工関連の展示会であるメタレックス・ベトナム・2016に出展する。東京都の支援を得て、自動車など輸送機器の部品製造で用いる素材約10点を展示する。日系企業の製造拠点

ベトナムの展示会に出展

大和合金

上。加えて直角が出しやすく、梱包品質をさらに高められる。……

展示会では独自開発のNC合金を使った射出成型用の金型材料や、クロム銅などで造る抵抗溶接関連の材料を紹介する予定。製品説明などのために社員5人を派遣する。同社の参加は12年、15年に続き3回目となる。展示会の開催は10月8日までの3日間。